

# 国民健康保険事業特別会計

留萌市市民健康部市民課保険給付係  
TEL 0164-42-1805

## 総括

平成30年度の国民健康保険事業特別会計の決算状況は、歳入2,151,762,141円に対して、歳出2,120,047,829円であり、歳入歳出差引31,714,312円の黒字となり平成27年度から黒字を維持していますが、単年度収支については令和2年度から始まる前期高齢者交付金の返還に備えるため基金に積立を行ったこともあり、前年度に引き続き赤字となりました。

また、国民健康保険事業の運営において、都道府県が保険者に加わり、財政運営等の中心的な役割を担うことで国民健康保険制度の安定化を図ることとして、平成30年度から国民健康保険制度が都道府県単位化されたことにより、歳入歳出ともに予算科目が大幅に変更となりました。歳入においては保険給付費のほぼ全額を北海道からの普通交付金で賄うこととされたため、道支出金が大幅な増加となっており、一方で歳出においては、国民健康保険事業費納付金が新設され、北海道が医療給付費等の見込を立てた上で納付金の額を決定し、市は国民健康保険税などを財源としてこれを支払うこととなりました。

国民健康保険事業の黒字は維持されているものの、構造的な収支は被保険者数の減少や高齢化等により一人当たり医療費が増加するなど、依然として厳しい状況が見込まれていません。納付金制度を通じた国民健康保険税の平準化や適正賦課額の検証及び医療費の適正化を図り、持続可能で安定的な国民健康保険事業の運営に努めてまいります。

## 収入

### ■前年との比較

#### ①国民健康保険税

収納率は向上しているものの、被保険者数の減により減少しています。

#### ②道支出金

歳出の保険給付費のほぼ全額を北海道からの普通交付金で賄うこととされたため大幅に増加しています。

#### ④繰越金

前年度決算余剰金を計上しています。

※⑥～⑨については国保が都道府県単位化されたことに伴う制度変更により、皆減となりました。

(単位:千円、%)

予算科目	平成30年度			平成29年度		平成29年度決算との比較	
	予算額	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	C (A-B)	C/B
①国民健康保険税	297,406	311,697	14.5	325,504	12.3	△ 13,807	△ 4.2
②道支出金	1,630,300	1,565,424	72.7	115,439	4.4	1,449,985	激増
③繰入金	202,437	192,787	9.0	194,180	7.4	△ 1,393	△ 0.7
④繰越金	75,209	75,210	3.5	76,043	2.9	△ 833	△ 1.1
⑤その他	4,898	6,644	0.3	7,442	0.3	△ 798	△ 10.7
⑥国庫支出金	0	0	0.0	568,939	21.6	△ 568,939	皆減
⑦療養給付費等交付金	0	0	0.0	52,691	2.0	△ 52,691	皆減
⑧前期高齢者交付金	0	0	0.0	728,801	27.7	△ 728,801	皆減
⑨共同事業交付金	0	0	0.0	562,327	21.4	△ 562,327	皆減
合計	2,210,250	2,151,762	100.0	2,631,366	100.0	△ 479,604	△ 18.2

## 支出

### ■前年との比較

#### ①総務費

国保の都道府県単位化に伴うシステム費用の減により減少しています。

#### ②保険給付費

被保険者数や支給件数の減等により、減少しています。

#### ③国保事業費納付金

国保の都道府県単位化に伴い北海道に医療費の保険者負担分等を納付するために新設されました。

#### ⑥その他

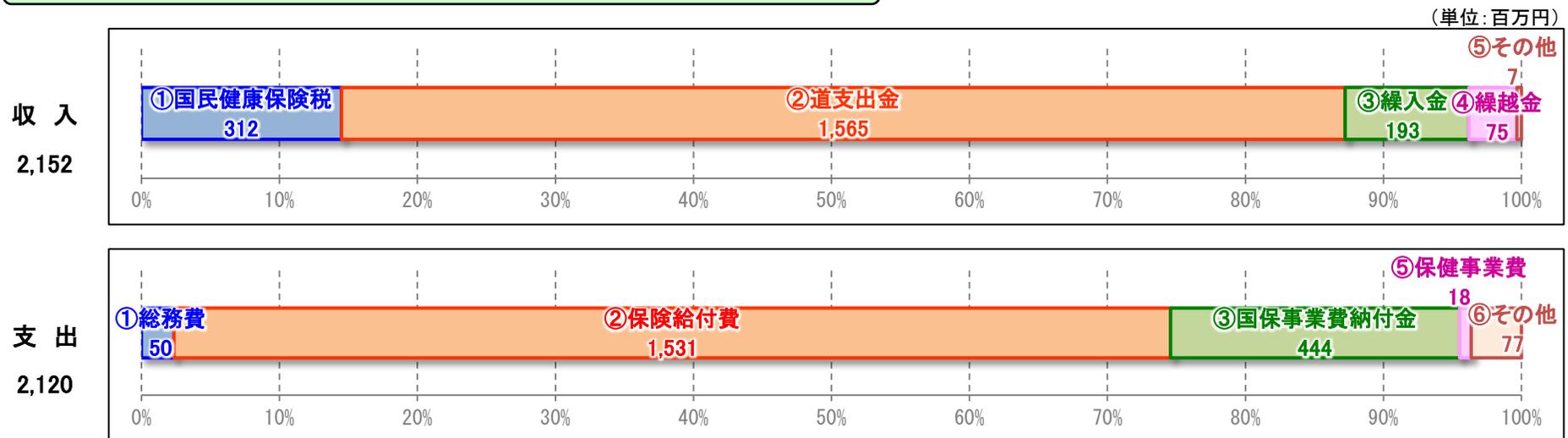
国保基金に32,000千円積立てたことから増加しています。

※④、⑦～⑨については国保が都道府県単位化されたことに伴う制度変更により、激減及び皆減となりました。

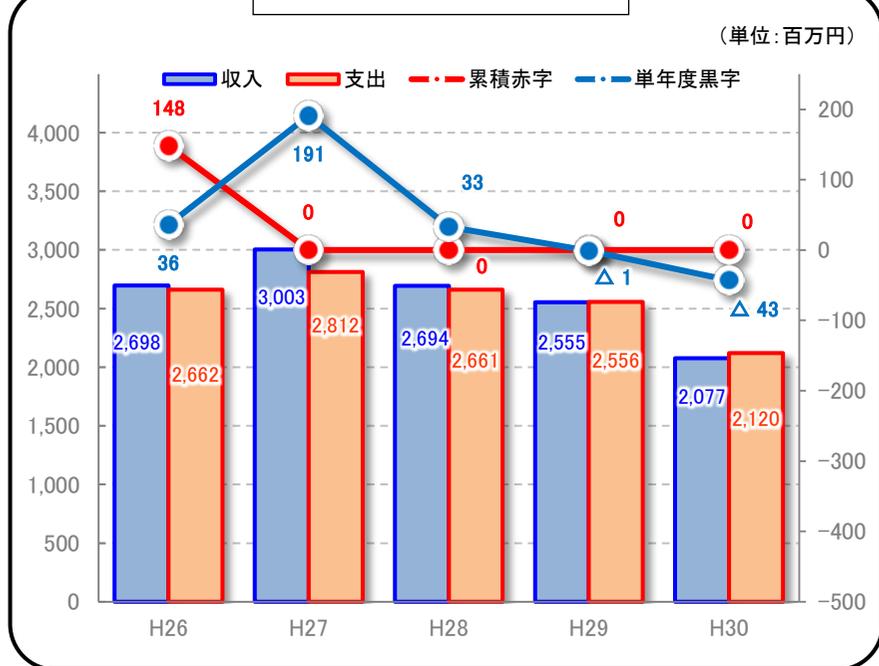
(単位:千円、%)

予算科目	平成30年度			平成29年度		平成29年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
①総務費	51,998	49,685	2.3	70,158	2.8	△ 20,473	△ 29.2
②保険給付費	1,597,414	1,530,711	72.2	1,583,238	62.0	△ 52,527	△ 3.3
③国保事業費納付金	459,359	444,621	21.0	0	0.0	444,621	皆増
④共同事業拠出金	10	1	0.0	542,336	21.2	△ 542,335	激減
⑤保健事業費	23,671	18,268	0.9	17,868	0.7	400	2.2
⑥その他	77,798	76,762	3.6	44,381	1.7	32,381	73.0
⑦後期高齢者支援金	0	0	0.0	223,001	8.7	△ 223,001	皆減
⑧前期高齢者納付金	0	0	0.0	847	0.0	△ 847	皆減
⑨介護納付金	0	0	0.0	74,327	2.9	△ 74,327	皆減
合計	2,210,250	2,120,048	100.0	2,556,156	100.0	△ 436,108	△ 17.1

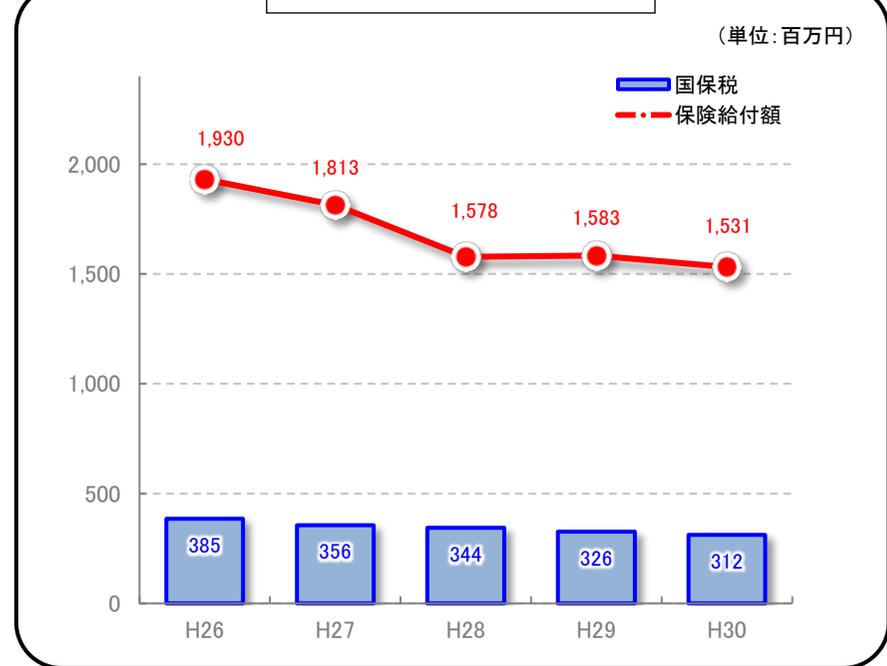
## 収支の状況（平成30年度決算）



### 単年度収支と累積赤字の推移



### 国保税と保険給付額の推移



## 令和元年度執行状況（9月30日現在）

### 収入

#### ■収入の状況

- ①国民健康保険税 納期未到来分の影響により収入率は50%を下回っていますが、例年並みに推移しており、引き続き収納率の向上を図り予算額の確保に努めます。
- ②道支出金 前年度とほぼ同じ収入率で推移しています。
- ④繰入金 市から国保事業への繰出し(負担)で、年度末の収入となります。

(単位:千円、%)

予算科目	令和元年度収入状況		
	予算額	収入済額	収入率
①国民健康保険税	291,768	124,252	42.6
②道支出金	1,526,335	636,404	41.7
③財産収入	10	0	0.0
④繰入金	197,539	0	0.0
⑤繰越金	915	31,714	3,466.0
⑥諸収入	2,251	4,259	189.2
合計	2,018,818	796,629	39.5

### 支出

#### ■支出の状況

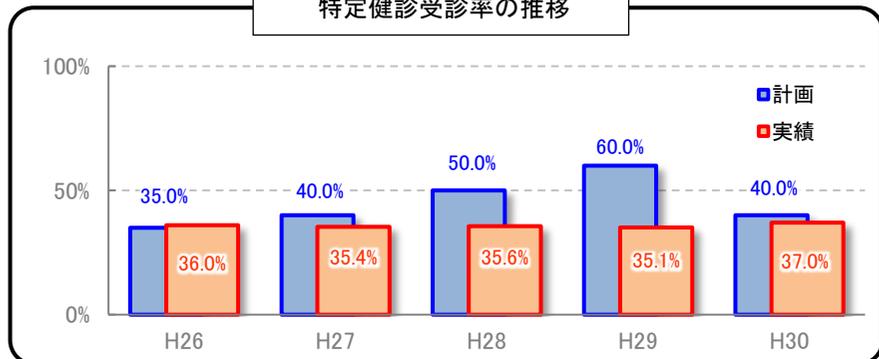
- ①総務費 国民健康保険を運営するための事務費等であり、例年並みに推移しています。
- ②保険給付費 国民健康保険被保険者が医療機関等を受診した際の医療費に係る保険者負担分であり、ほぼ全額が北海道から支払われる普通交付金で賄われます。
- ③国保事業費納付金 北海道に対して納付するもので、年度末までに予算額のほぼ全額を支出する見込です。

(単位:千円、%)

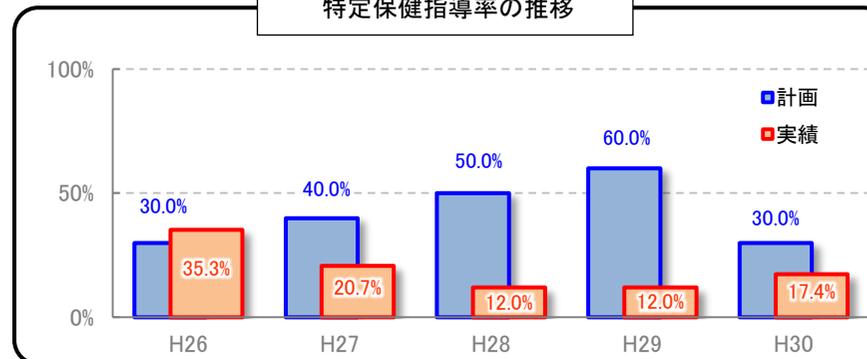
予算科目	令和元年度支出状況		
	予算額	支出済額	執行率
①総務費	51,700	22,731	44.0
②保険給付費	1,504,588	637,015	42.3
③国保事業費納付金	436,200	128,909	29.6
④共同事業拠出金	10	0	0.0
⑤保健事業費	24,296	6,314	26.0
⑥その他	2,024	222	11.0
合計	2,018,818	795,191	39.4

## 特定健診・保健指導の状況（平成30年度）

特定健診受診率の推移



特定保健指導率の推移



※繰越金の収入率が3,466%となっていますが、今後補正を行い収入率は100%となる見込みです。